

- 世界水準の観光地の形成
- 北海道型地域構造の保持・形成

平成の開港を国際観光ハブの形成へ ～魅力ある観光都市函館～

「世界の北海道」を目指して
—北海道総合開発計画—

- 安政6年（1859年）、横浜・長崎とともに我が国最初の国際貿易港として開港した函館市は、地域ブランド調査で2014年から3年連続で『魅力度ランキング』全国1位となった国際観光都市です。
- 2016年3月26日の北海道新幹線の開業（平成の開港）に続き、函館新外環状道路函館空港ICが供用すると、高速道路・新幹線駅・国際空港函館空港・重要港湾函館港の主要な交通ターミナルと、主な宿泊地である湯の川温泉が30分で結ばれる、全国でも稀な国内外からの観光に適した都市となります。
- 道路・空港・港湾の整備を推進することにより国際観光ハブを形成し、函館市を含む道南圏の観光に大きく寄与します。
- これらにより、世界水準の観光地の形成・地域の強みを活かした産業の育成「人流・物流ネットワークの充実」を図ります。

国際観光ハブ
主要交通機関、観光地、宿泊地がコンパクトに集約

本州、海外から空路で

本州から新幹線で

本州から航路で

函館山からの夜景
(ミシュラン・グリーン・ガイドで三つ星)

国際線の旅客数

年	チャーター (千人)	定期路線 (千人)	合計 (千人)
H22	40	40	80
H23	34	9	43
H24	24	43	67
H25	125	108	233
H26	154	162	316

近年、国際線利用客の増加と共に国際定期路線利用客も増加している。
(資料:東京航空局資料より北海道開発局作成)

【江差町】開陽丸

【松前町】松前城(北海道遺産)

【北斗市】トラピスト修道院

【函館市】赤レンガ倉庫群

函館港を利用するクルーズ客船
(H28年は26隻寄港し道内1位
H29年は30隻予定)

平成29年3月に開通した臨港道路

平成27年3月に開通した函館IC～赤川IC間の利用状況

平成24年3月に開通した北斗富川IC～北斗茂辺地IC間の利用状況

【七飯町】大沼国定公園

【松前町】松前城(北海道遺産)

【北斗市】トラピスト修道院

戸井まぐろ
大間まぐろ